

図1：地域ごとの調査票送付件数と回答率

図1

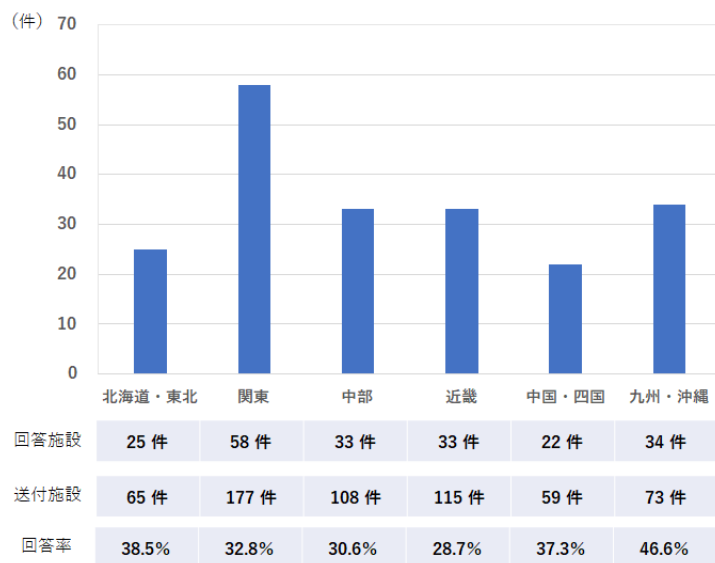


表1. 施設の内訳

クリニック	2件
病院	162件
関節リウマチのセンター	12件
特定機能病院	42件
その他	0件

表2. 関節リウマチの主な診療科

主に整形外科が診ている	44件
主に内科が診ている	122件
整形外科・内科で同じ程度診ている	38件

表3. 1か月当たりの関節リウマチ患者数

10名未満	0件
10～100名	29件
101～300名	78件
301～500名	44件
501名以上	51件

表4. HTLV-1陽性関節リウマチの診療経験
(2018年1月～2019年12月)

ある *1	60件
ない	124件
わからない	19件

*1：おおよその患者数	1名	28件
	2名	10件
	3名	2件
	4-20名	6件
	50名以上	1件

表5. 妊婦健診や献血などを契機とした
HTLV-1陽性関節リウマチの診療経験

ある	14件
ない	184件
わからない	7件

図2. 関節リウマチ全患者における主なDMARDsのおおよその使用頻度

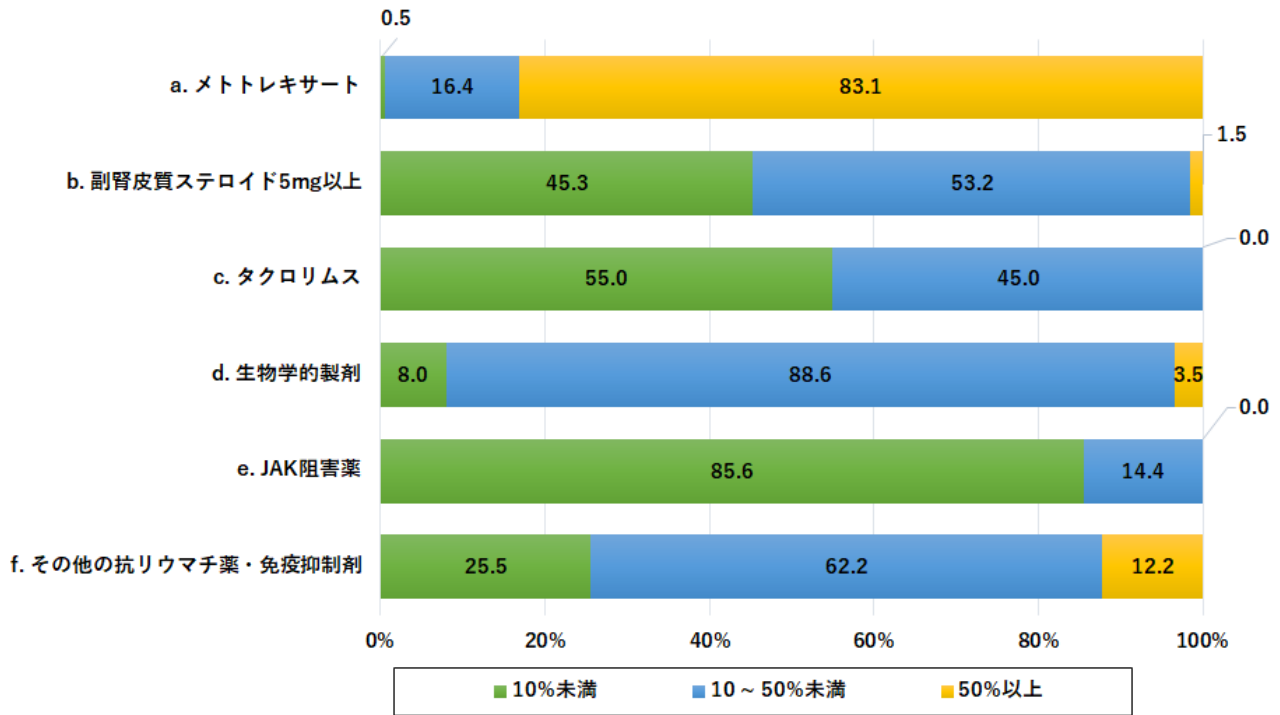


表6. HTLV-1陽性関節リウマチ治療中にATL, HAMやHUの発症経験 (2018年1月~2019年12月) ~MTX, タクロリムス, Bio, JAK~

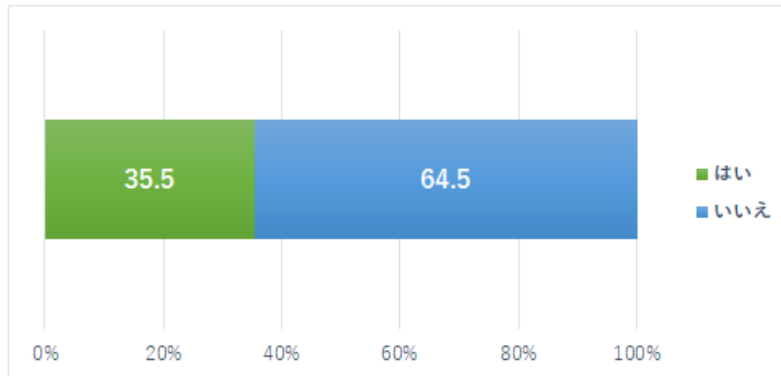
ある	12 件
ない	181 件
わからない	8 件

表7. HTLV-1陽性関節リウマチ治療中にATL, HAMやHUの発症経験 (2018年1月~2019年12月) ~そのほかのDMARDs~

ある	3 件
ない	188 件
わからない	10 件

図3.

設問. このアンケート以前に「HTLV-1陽性関節リウマチ患者診療の手引（Q&A）」が公表されていることをご存じでしたか？



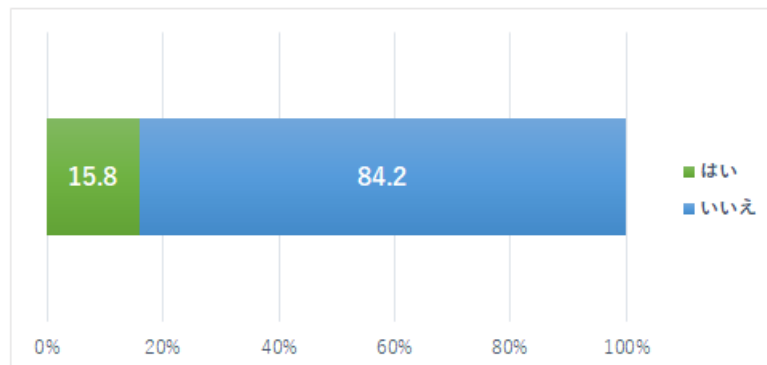
■ はい *	72 件
■ いいえ	131 件

* : 情報ソース
(複数回答可)

学会HP	44 件
学会・講演の聴講	18 件
同僚（医師）	8 件
同僚（医師以外）	0 件
患者	0 件
インターネット検索	10 件
その他	2 件

図4.

設問. 「HTLV-1陽性関節リウマチ患者診療の手引（Q&A）」が第2版に改訂（2019年3月）されたのをご存じでしたか？



■ はい	32 件
■ いいえ	171 件

図5. 同封の「HTLV-1陽性関節リウマチ患者診療の手引（Q&A）」第2版の内容は妥当でしょうか？

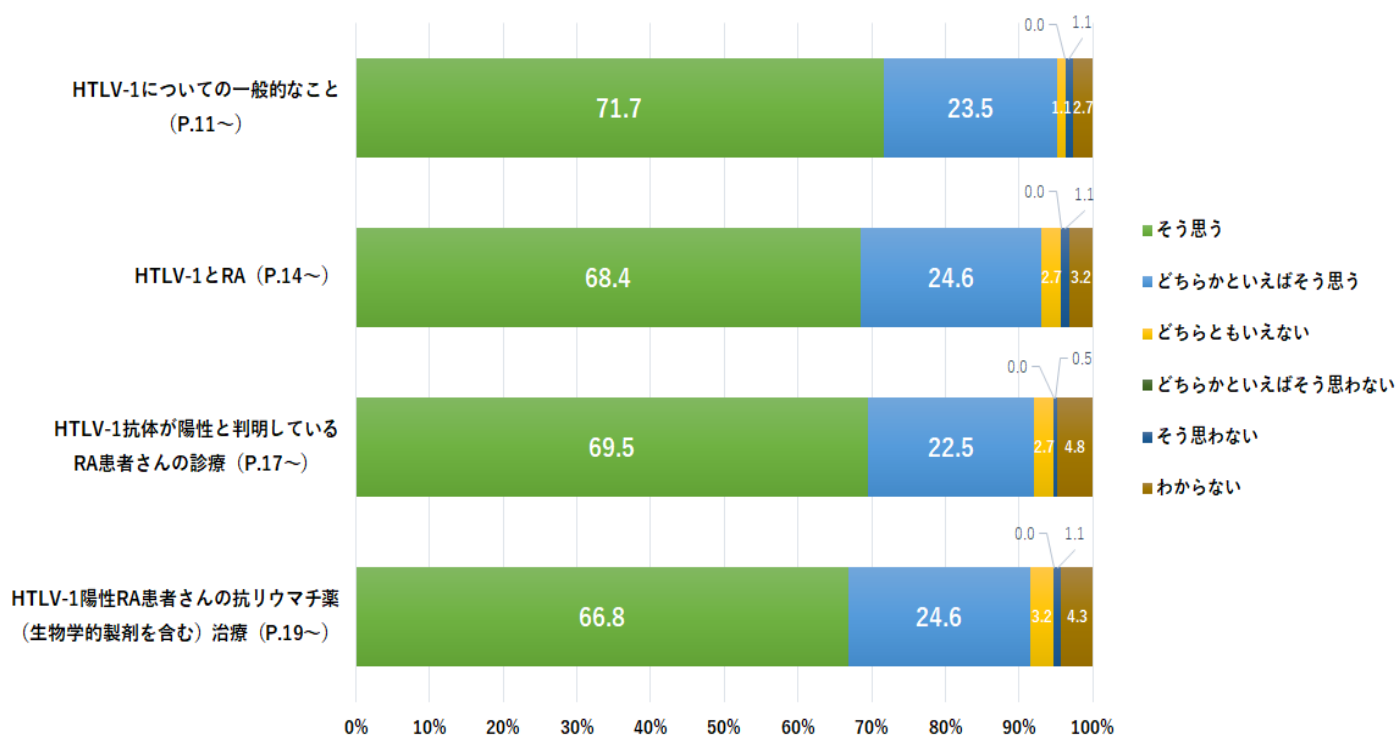
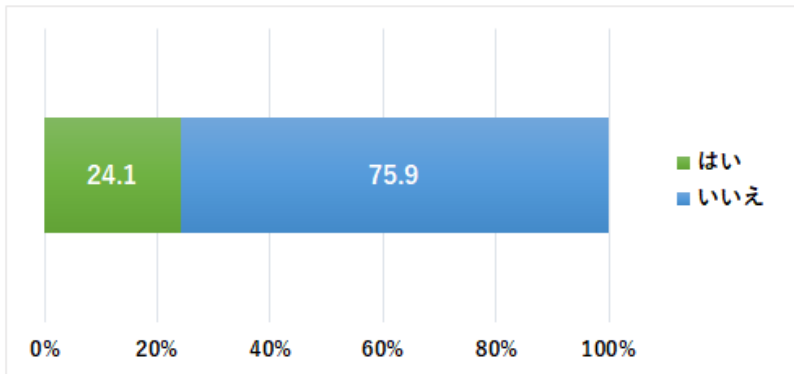


表8. 同封の「HTLV-1陽性関節リウマチ患者診療の手引（Q&A）」第2版の内容に対するコメント

- 経験がありませんでした（そもそもHTLV-1は測定していません）。これから勉強させていただきます。
- エビデンスがないから”使用していけない薬はない”とは言えないと思います。エビデンスがないなら、分からないと答えるべきです。
- 良いと思います。
- 流行地域ではないため（茨城県）診療経験がありません。
- 現時点では、特に生物学的製剤やJAK阻害薬に関して、十分なエビデンスがないため、このような表記が限界と考える。
- 手引としては、検討課題が多く、不明点が多いため、臨床での有用性がやや劣る印象を受けました。
- じっくり見させていただきます。
- HTLV-1抗体はなかなか調べないので、無症状でHTLV-1陽性例がほぼいない。
- 治療選択の考え方、特にMTX、生物学的製剤、JAK阻害薬とリンパ増殖性疾患について、治療開始後の注意点を含めとても参考になりました。
- とても分かりやすいと思いました
- 治療内容説明不足と思います。（ステロイドパ??）
- 25年前、鹿児島赤十字リウマチ科の部長先生におたずねして、今回とほぼ同じ診療を活かされていました。
- 第1版は大変参考になりました。ありがとうございます。
- Q&Aが充実していて、素晴らしいと思います。
- 特にすべきものはございませんでした。大変わかりやすいと思いました。
- 受けとめ方が大分違うので、一般向けと医師向けは分けた方が良い様に思います。

図6. 関節リウマチ患者（以下患者）診療に関連してHTLV-1抗体検査を行っていますか？



■ はい	49 件
■ いいえ	154 件

表9. どんな場合に検査を行いますか？（複数回答 可）

ルーチンで検査している	3 件
ATL、HAM、HUなどHTLV-1関連疾患の合併を疑った時	32 件
関節リウマチの診断時	6 件
患者から希望があった時	8 件
患者の家族歴や出身地を考慮して	22 件
ステロイド 投与時	1 件
免疫抑制剤 投与時	3 件
JAK阻害薬や生物学的製剤 投与時	4 件
手術を行う時	5 件
その他	6 件

表 1 0. HTLV-1陽性を確認した際にどのような対応をされていますか？

(複数回答 可)

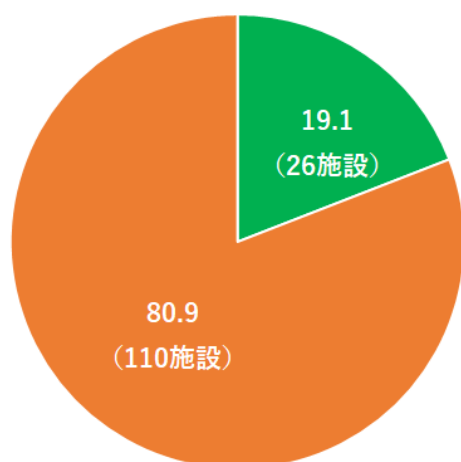
血液内科に相談する	29 件
HTLV-1に関する資料を利用して説明する	12 件
血液内科のある他のリウマチ医療機関へ紹介する	3 件
特別な対応はしていない	8 件
その他	10 件

表 1 1. 「資料を利用して説明する」を選ばれた方は、

よくご利用される資料がありますか？ (複数回答 可)

HTLV-1陽性関節リウマチ患者診療の手引 (Q&A)	9 件
HTLV-1キャリア向けパンフレット	6 件
HTLV-1キャリア向けホームページ	2 件
その他	1 件

図 7. HTLV-1陽性がわかっている患者の診療でHTLV-1の説明に困ったことがありますか？



■ ある ■ ない

表12. 「HTLV-1の説明に困ったことがある」の主な内容

HTLV-1+のPtの今後のフォローの方法や説明について。

手引きが存在する以前は、参考となるものが存在せず、免疫抑制療法に伴う疾患発症のリスクを説明できなかった。

治療のHTLV-1への影響。

基本的にHTLV-1についての知識が不足していた。RAとの関連性をよく知らなかった。

今後のRA加療について、生物学的製剤投与中に判明した症例があるので、ちょうど困っている現状であった。

ATL、HAMの発症の可能性など。

白血病を？血清疾患の証明。

治療方法の妥当性に自信がなかった。

フォローが必要かどうか？

キャリアのみで専門科へ紹介、定期受診を依頼すべきか。

リウマチ性疾患の治療によるATL発症等の疾患憎悪への関与について。

経過。

以前の手引きが役立っています。

血液内科医が不在のときにどうすべきか聞かれたときの返答に困った。

生物製剤や分子標的薬を治療としてすすめるか否かを患者さんと相談するときに困りました。

対応方法。

RA治療を開始する前に、合併症の精査が必要な理由とその間の対応について。RA治療中のATL、HAM、HUの頻度。

専門的な内容。

MTX併用にてのリンパ腫発生のリスクなど。

知識が少ない。

症例経験が非常に少ないので、説明前に手引きなどを確認する。

リウマチ治療でATLになるリウマチがあるかといった質問に対して。

HTLV-1抗体陽性であるが、生物学的製剤を使っても大丈夫かと尋ねられた時。

経験症例が少なく、その場ですぐに詳細について説明できなかった経験があります。

図8. HTLV-1陽性RA患者来院時の診療フローチャート

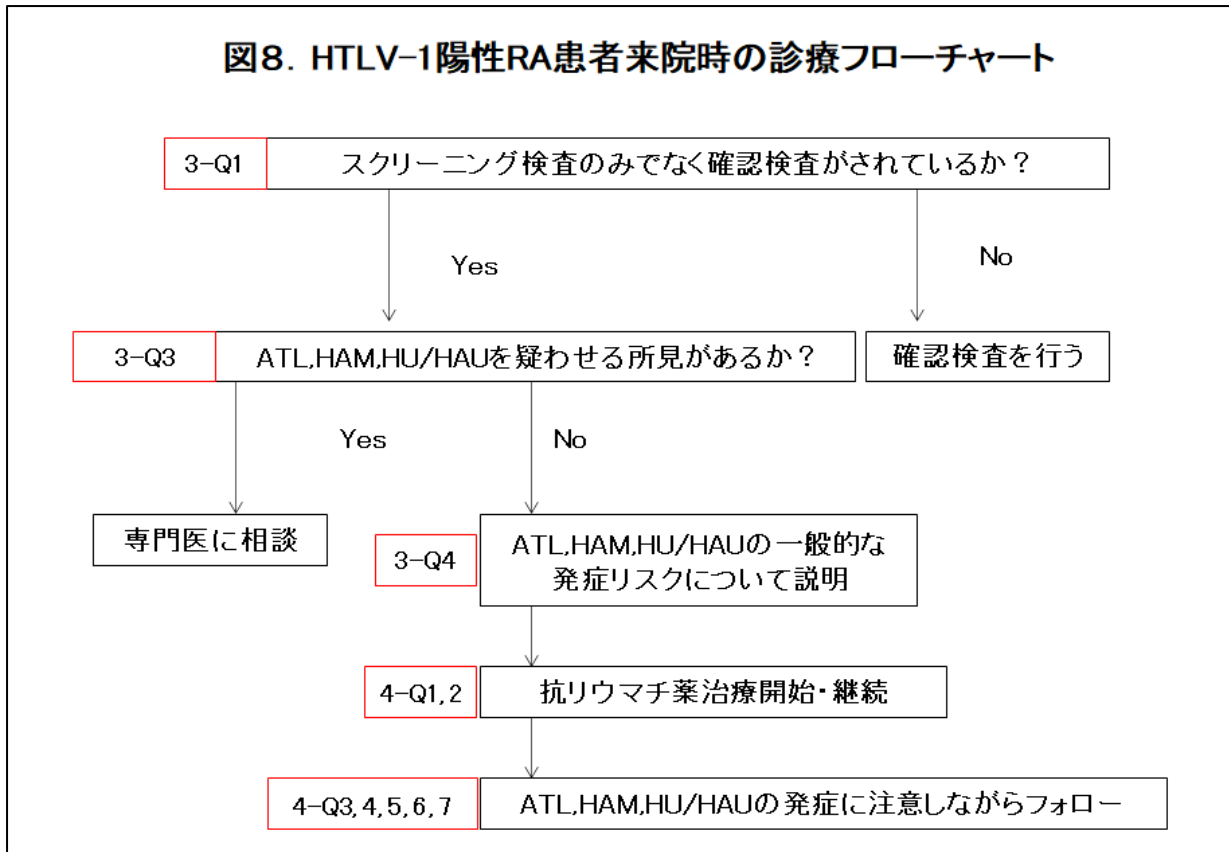


図9. HTLV-1抗体スクリーニング検査が陽性の場合、確認検査を実施する。

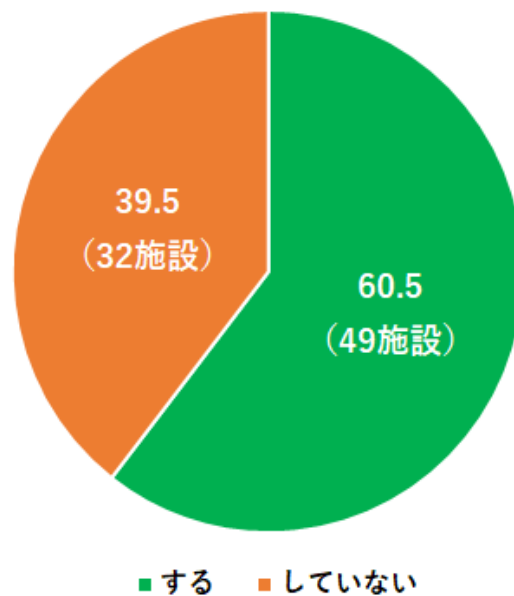


図10. HTLV-1抗体確認検査が、新たなラインプロット法（LIA法）に移行していることを知っていた施設

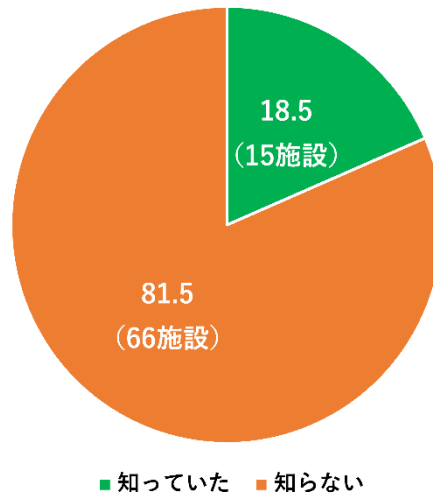


図11. 治療開始時や経過中にATL、HAM、HUを疑わせる所見がないか確認する。

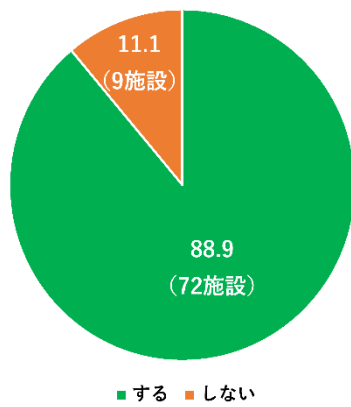


図12. 治療開始時や経過中にATL、HAM、HUを疑わせる所見があれば専門医に相談する。

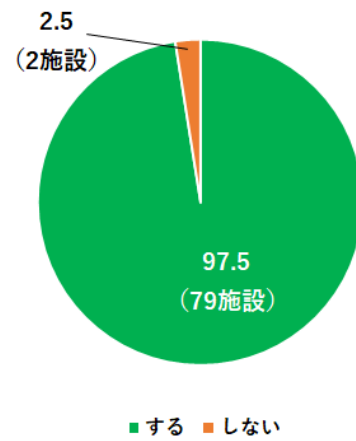


図13. 治療開始時や経過中にATL、HAM、HUの一般的発症リスクについて説明する.

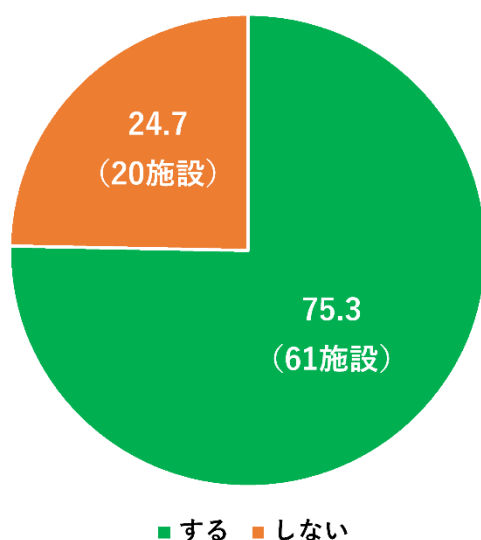


図14. 治療開始後や経過中にATL、HAM、HUの発症に注意しながらフォローアップする.

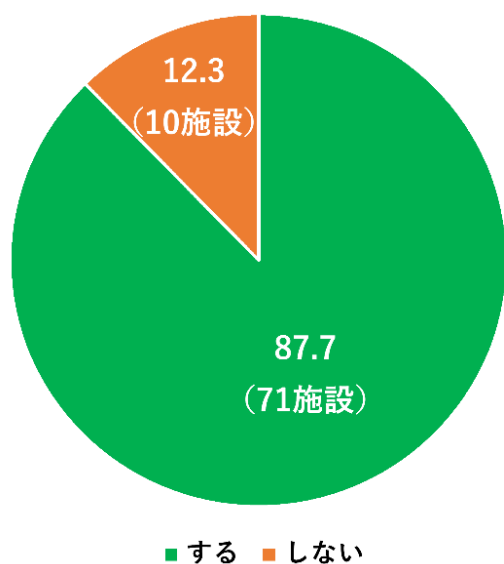
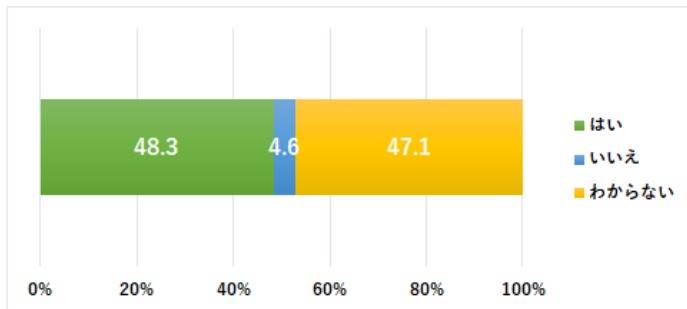
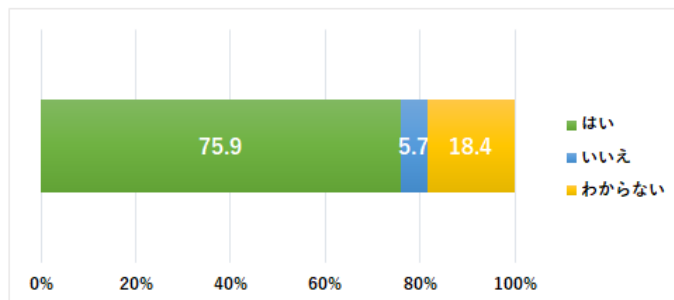


図15. HTLV-1陽性関節リウマチ患者の診療において、HTLV-1プロウイルス量の測定は臨床的意義が高い検査と思われますか？



■ はい	42 件
■ いいえ	4 件
■ わからない	41 件

図16. HTLV-1プロウイルス量の測定が可能であれば、測定したいと思われますか？



■ はい	66 件
■ いいえ	5 件
■ わからない	16 件

図17. 免疫抑制剤・生物学的製剤を使用する際にHTLV-1抗体を測定したほうが良いと思われますか？

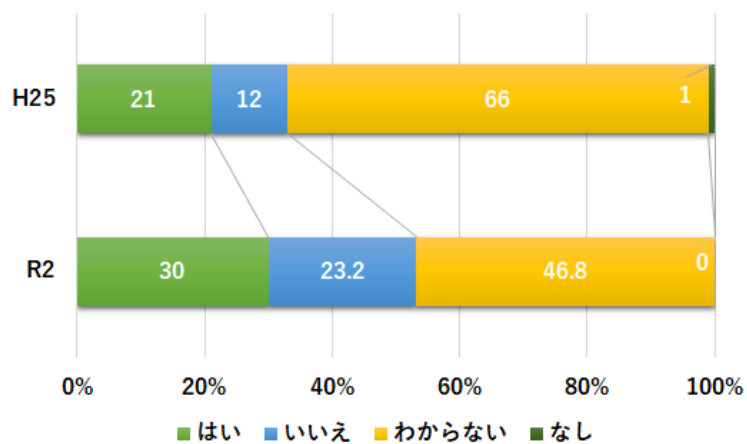


図18. HTLV-1抗体が陽性の患者では治療に注意が必要であると思われますか？

